

2020 年度委員会事業報告書

室名 未来へつながる伝播室 委員会名 豊川っ子やる気☆スイッチ ON 委員会

担当室長 山口 佳巳
委員長 鈴木 雅大
副委員長 梅村 晃司
外山 慎也
総括幹事 関谷 冴基
運営幹事 田中 大造
会計幹事 前田 陽子
広報幹事 坂上 準
渉外幹事 西 一博
アドバイザー 松山 剛大



【担当事業及び担当例会】

5月例会 コロナの影響により中止

おいでん祭中止のため未実施となりました。

緊急事業 豊川♡マスクリレープロジェクト～善意のマスクつなげます～

開催期間:6月15日から7月31日

10月例会 ドリーム☆ティーチャーin とよかわ

開催日:コロナの影響により11月15日

【実施効果及び成果】

「緊急事業 豊川♡マスクリレープロジェクト～善意のマスクつなげます～」

政府より配布されたマスク及び不要マスクの回収をすることで豊川市民の思いやりの気持ちをつなぐことで、コロナにおける危機的状況を乗り越える事を目的として行いました。

事業開始当初、古物営業法に抵触する恐れがあると豊川警察署様から連絡を頂き事業の一時中止を余儀なくされましたが豊川警察署様の迅速な対応において事業を再開することができました。回収マスクは 686 枚を皆様より寄贈頂き東三河広域連合様を通じマスクを必要とする豊川市内の介護施設様へ届ける事ができました。

「10月公開例会 ドリーム☆ティーチャーin とよかわ」

将来に希望や目標を持ってない子どもたちが4割以上と言われる現状で、諦めずに努力することで、目標や希望、夢を見つけられる事ができるように成ることを目的として、元五輪ソフトボール日本代表の高山樹里氏を講師に招き、講演、実技指導、模範投球を事業とし開催しました。実際に半数以上の生徒が将来に目標や希望を持っていないもしくはどちらとも言えないと答えていましたが、事業終了後には今後の部活動や生活に対して意識が変わったと答えた生徒は89%、夢や希望を持つことができた生徒は半数を超える61%以上という結果となり目的を多くの生徒に対して達成できたのではないかと感じております。

【反省並びに今後の課題】

「緊急事業 豊川♡マスクリレープロジェクト～善意のマスクつなげます～」

法令に抵触する可能性をメディアに取り上げられてしまった事で、前向きに協力をいただける店舗が減少してしまい、協力店舗の回収にばらつきが出てしまった。又、コロナ禍における日々の状況変化に対応しきれなかった。その影響もあり判断が難しくなってしまい協力店舗でも協力を躊躇する店舗が出てきてしまい当初協力店舗募集目標であった30店舗が25店舗の協力店舗しか集める事ができなかった。コロナ禍における対外事業は常に先を読み、メンバー全体の協力体制が必要です。

「10月公開例会 ドリーム☆ティーチャーin とよかわ」

コロナ禍において参加人数が少なかった。対象参加者の予定もコロナ禍においてかなり変動しているため綿密なスケジュール調整が必要です。また対外事業においては特に看護師やAEDの用意が今後にも必要になると思います。

【委員長所見】

コロナ禍におけるスケジュールや内容変更には振り回された一年でした。しかし結果としては緊急事業であるマスクリレープロジェクトは、今年しかできない事業だったと感じており刻一刻と変化する情勢に対応しながら豊川市民の思いやりの気持ちをつなぐ事ができ良かったと感じております。ドリームティーチャー事業においてはもともと青少年向けの事業がなんとか開催できた事を大変うれしく思います。様々な問題にぶつかり常に変化と対応に追われた一年ではありましたが、メンバーの皆様の協力のもと、おいでん祭は開催できませんでしたが企画したすべての事業が滞り無く開催できましたことに感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

【担当室長所見】

今年度は、コロナ禍の中今まででは考えられないような年となってしまいました。しかし何もやらないのではなくできることを考え、実行する年となりました。委員会の担いとは違いましたがマスクリレーを実行しました。10月公開例会は度重なる緊急事態宣言が出る中例会が実施できるか分かりませんでした。青少年事業を対外例会で行ってほしいという思いで、委員会にはどのようにし

たら事項できるか考え実行していただきました。色々大変な年に委員長を引受けて頂いたことに感謝します。ありがとうございました。